

自然がいっぱい!

おぐにまちで遊ぼう!!

豊かな自然に恵まれた小国町。そんな小国町の楽しい見どころをいろいろとまわってみましょう! きっといろんな自然の表情が見られるはずです。

1 白い森 オートキャンプ場

自然がいっぱいのキャンプ場です。すぐ近くを流れる荒川では川魚を追って水遊びをしたり、カヌーに挑戦することができます。



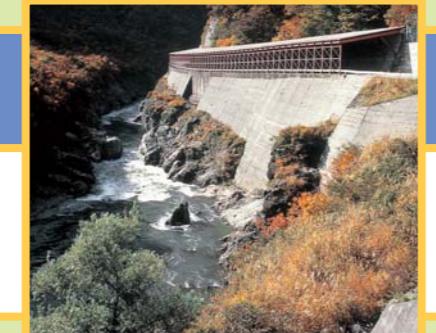
2 白い森木工館

小国町のケヤキ、ホウノキ、クリなどを使って、木のぬくもりと優しさを感じながら、コースターやこけしなどの手づくり体験ができます。



3 赤芝峡

国道113号沿いにあり、荒川の清らかな水と渓谷がとてもきれいなところです。秋には、山が赤や黄色に紅葉するとしても美しい名所です。



4 道の駅 「白い森おぐに」

茶屋の雰囲気を持ったなじみやすい道の駅です。ゆっくり休める休憩所や物産コーナー、交通や町の観光・イベント情報のコーナーなどがあります。



いろいろな樹木を探そう

森ではさまざまな樹木を見ることができます。

樹木それぞれに大きさや葉の形、種の時期などの特徴があります。

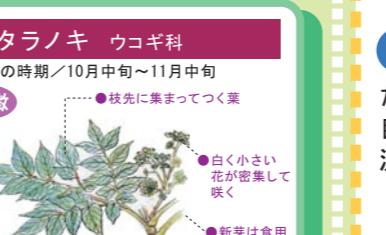
あなたはいくつ見つけられますか。



●モミジイチゴ バラ科
■種の時期／5月～8月中旬
特徴
森林の伐採跡地や坂端縁の多少日陰になるところにごく普通に生え、高さは約2mになる。
●黄色く熟した実は甘くておいしい。



●クマイイチゴ バラ科
■種の時期／6月～7月初旬
特徴
モミジイチゴ同様、伐採跡地や道ばたに生え、生活力はより旺盛で高さ1～2mになる。
●トゲが多いので注意。



●タラノキ ウコギ科
■種の時期／10月中旬～11月中旬
特徴
伐採跡地や、荒れ地などで日当たりのよい場所に生え、高さ3～5mになる。
●白く小さい花を密集成して咲く。
●新芽は食用。



●キハダ ミカン科
■種の時期／10月
特徴
山地にまばらに生え、高さ25mほどになる。
●小さな実は次第に黒く熟す。



●ウワミズサクラ バラ科
■種の時期／8月中旬～9月下旬
特徴
山地に生え、高さ10～15m、胸高直径50cmになる。
●樹皮は染料としても使用される。



●オオバクロモジ クスノキ科
■種の時期／9月
特徴
主に日本海側の山地帯に分布する、高さ2～4mの低木。
●葉ががっしりと重い。



●ケヤマハンノキ カバンキ科
■種の時期／10月
特徴
やや湿った山地や平地に生え、落葉高木で、高さ15～20mにもなる。
●葉が緑色から黒へと色が変化する。



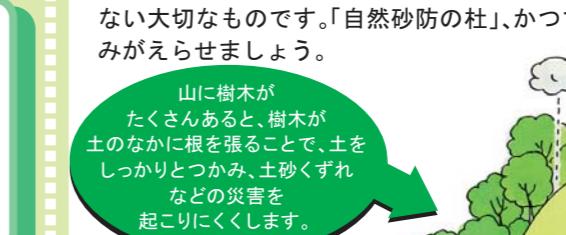
●ミズナラ フナ科
■種の時期／10月～11月初旬
特徴
ブナとほぼ同じ山地帯にまとまって生え、高さ20～25m位になる。
●葉柄がほとんど見えない。



●コナラ フナ科
■種の時期／10月～11月初旬
特徴
ミズナラより樹高の低い、いわゆる中山の日当りのよい山地にまとまって生え、高さ15～20mにもなる。
●5～2.5cmのドングリ。



●トネノキ トネノキ科
■種の時期／10月～11月初旬
特徴
山地帯に、特に沢沿いで生え、高さ20～30m、直径2mにもなる。
●先がふくらみを帯びた葉。



●クリ フナ科
■種の時期／9月～10月初旬
特徴
山地に生え、高さ15～20mになる。
●葉のトゲは鋭いので注意。



●ヤマダモ モクセイ科
■種の時期／10月
特徴
山地帯のかなり湿った場所にまとまって生え、高さ20～30m、直径2.5mもの大木になることがある。
●エダマのようない下向きにつく葉がある。



●ケヤキ ニレ科
■種の時期／10月
特徴
日本を代表する落葉樹のひとつ。山地、平野部に生え、人家の周囲にも植えられる。
●葉や実は小さいので見分けやすい。



●イタヤカエデ カエデ科
■種の時期／10月～11月初旬
特徴
山地帯に散在して生え、高さ15～20m、直径1mにもなる。
●手のひらのようない葉。



●タニウツギ スイカズラ科
■種の時期／7月～8月上旬
特徴
日本海側の日当りのよい山野に見られ、特に林道斜面や崩壊地に多い。高さ2～5mになる。
●葉と花の色が違う葉。



●オオヤマザクラ バラ科
■種の時期／5月中旬～6月
特徴
本州中部以北の山地に生え、高さ10～25mになる。
●直径1cmの実がつき、黒く熟していく。



●ブナ ブナ科
■種の時期／10月～11月中旬
特徴
日本の山地帯の最も代表的な木。まとまって生え、高さ30mにもなる。
●波状の葉のふち。



●オニグルミ クルミ科
■種の時期／9月中旬～10月中旬
特徴
渓谷沿いなどに多くまとまって生え、高さ25mの木本になることがある。
●熟すとイガが剥けてくる。



●ノリウツギ ユキノシタ科
■種の時期／10月中旬～11月中旬
特徴
クマイチゴ等よりも多く当たる山野に生え、高さ2～4mになる。
●アサイー色のクリーム色の可憐な花。



●ホオノキ モクレン科
■種の時期／9月中旬～10月中旬
特徴
山地に散在して生え、高さ20～30m、直径1m位にもなる。
●大きな葉の実。

●シナノキ シナノキ科
■種の時期／9月中旬～10月中旬
特徴
高さ10～20m、樹皮は灰色。日本特産で、山地に生える。
●さざなぎがある葉。

おぐにまちってどんなまち?

ブナのはなし

恵み豊かな自然のしきみ

小国町は、町土の9割が森林で、ブナの森を中心とした落葉広葉樹林が広がる自然豊かな町です。ブナの森は木の実、山菜、キノコ、渓流にすむイワナなど、山や川の幸を育んだり、たくさんの動物たちが暮らせる場を提供してくれます。また、雨や雪解け水をたっぷりと林床に蓄え、川へとそぞろ流域をうるおしてします。小国町の人たちは、この恵み豊かなブナの森と関わりながら、独自の生活文化をつくりあげてきたのです。

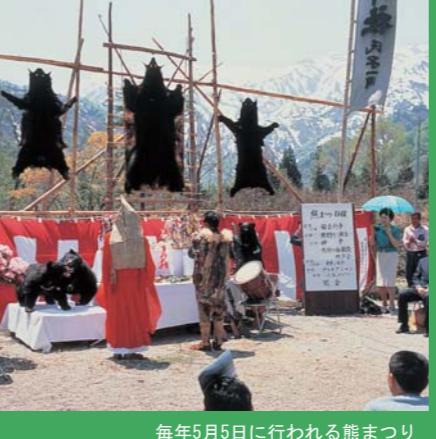


マタギのはなし

おきてを守り、自然を残す

マタギとは、東北地方や新潟県の山間部で熊などのけものをとったり、山菜や木の実をとて暮らす人々のことです。小国町にはいまもマタギ衆が暮らしています。

マタギには、「山は山の神が支配しております、獲物は山の神からの授かりものだ」という精神が根付いているので、マタギは山に入ると、「山言葉」という独自の言葉を使い、獲物をとらえると、余すことなく利用します。また、足の先が白い熊や子連れの熊を撃つことは禁じられています。これらは豊かな自然を残し、暮らしを守る知恵でもあります。



流木の山となった小国大橋

かつての 雨による被害

1966年

新潟県北部に集中豪雨

関川地方では490mmの降雨

大洪水が発生した黒川村胎内地区では土石流発生

1971年

6月28日、早晩の局地的集中豪雨により加治川が氾濫

3,930世帯に被害、被害額は7億円に達した

砂防えん堤の働き

砂防えん堤は…
自然に流れてくる土砂を貯めて、川の流れをゆるくしています。

雨がたくさん降ると…
たくさんの土砂を貯めて、土砂災害から地域を守ります。

大切な自然砂防の杜

ときとして自然は、予想を超える力を見せます。降り続く大雨で洪水や土砂崩れが起こり、私たちがすむ村や町にたいへんな被害をおぼすこともあります。しかし、たくさんの樹木がある森には、その勢いを防ぎ、被害を最小限におさえる力があります。森は、私たちの生活にとってみても欠かすことのできない大切なものです。「自然砂防の杜」かつて私たちの身近にあった豊かな森を、できるだけ近い形でおみがえらせましょう。

山に樹木があると、樹木が土のなかに根を張ることで、土をしっかりとつかみ、土砂くずれなどの災害を起こにくします。

樹木が少ない、雨水の流れで地面がけずられて、土砂くずれやすくなると、土砂くずれなどの災害が起きやすくなります。

